

令和7年第2回さつま町議会定例会 一般質問通告書

令和7年6月23日（1～5番）、24日（6番～9番）

順番	(議席番号) 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
1	(12) 川口 憲男	1 農林業・商工業の振興対策について 本町の主要産業である第1次産業の振興は、これからのまちづくりにおいて必要不可欠であると考えているが、次の点について問う。 (1) 農林業の推進は、所得向上や地域の活性化等、重要な役割を担っているが、特に重点的に取り組む政策は何か。 (2) 昨年度、宮之城屋地の商店街の一部を基金により購入しているが、どのような構想や施策を考えているのか。 2 人口増に向けた町の新たな取組について 人口減少が著しい中、国や県も様々な対策を講じてはいるが、町においても若者の人口流出は厳しい状況にある。この人口減少対策にどのように取り組む考えか。	町 長
2	(8) 武 さとみ	1 防衛施設「弾薬庫」建設計画について 「弾薬庫建設計画」を、中岳周辺の住民が知ったのは、令和5年12月の新聞報道等であり、令和6年2月に建設予定地が「中岳」であることを知った。これらの計画についての住民説明会は、令和6年3月に薩摩地区住民を対象とした1回だけである。 これまでの経過は、周辺住民の思いを軽視しているように感じるが、今後の取組について、町長の見解を問う。 2 「学びの多様化学校」について 令和7年3月末時点で、町内の不登校児童生徒は、41名である。3月議会で教育長は、「これまでの支援は、居場所づくりとしては一定の成果をあげているものの、学習保障という観点からは十分とはいえない、教育委員会としては、令和8年4月に、学びの多様化学校宮之城中学校分教室設置をめざす」と回答された。 きめ細かい配慮が求められる分教室になると思うが、具体的にどのようなことに配慮をしていく考えであるか。	町 長 教育長
3	(6) 古田 昌也	1 物価高騰対策について 町長は、所信表明において、「稼げる農林業・商工業の実現」を掲げている。 しかしながら、農林業・商工業は、近年の急激な物価高騰や人件費上昇により、様々な形で大きな影響が出ており、疲弊している状況にあると聞く。そこで、稼げる産業の実現に向けて、新たな支援策などは考えていないのか。 また、同様に指定管理料や費用弁償、補助率など全般的に見	町 長

順番	(議席番号) 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
		直しを行う考えはないのか。 2 公民館の運営管理等について 町は、令和8年度を目途に交流館などの公共施設を地域に譲渡する計画であるが、進捗状況や取り組みなどはどのようなになっているのか。 また、公民館長や地域役員のなり手不足、充て職の多さなどが問題化している。地域の負担軽減に向けた町の対応策はあるのか。 3 さつま町版ライドシェアについて 今年度よりさつま町版ライドシェアが運行を開始し、稼働しているが、なかなか認知度が上がりず課題も多いと聞く。 その中で一番の課題は、ドライバーの確保であるが、対応策などについて、検討や協議をしているのか。 また、その他に課題などがあるのか。	教 育 長 町 長 町 長
4	(2) 上別府ユキ	1 国際交流促進覚書（MOU）に関する施策について 西郷菊次郎ゆかりのさつま町・龍郷町・熊本県菊池市・台湾宜蘭市の4市町において、令和6年9月に国際交流促進覚書（MOU）が締結されたが、町長に今後の展望を問う。 (1) 経済分野での交流について、観光・物流等をどのように推進していくのか。 (2) 友好交流事業として、龍郷町青少年ミュージカルの上演が計画されているが、その進捗状況はどうか。 (3) 今後、青少年交流事業として、どのように進めていく計画であるのか。 (4) 今回の交流の契機となった西郷菊次郎の偉業を後世に伝えるために、資料館を整備する考えはないか。	町 長 教 育 長
5	(11) 有川 美子	1 宮之城鉄道記念館の整備促進について 宮之城鉄道記念館の整備促進について、複数の町民より身障者用駐車場の未設置や全体の駐車場数の不足、利便性が悪く買い物に行きづらい等の要望が届いている。さつま町まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標2「人々がふれあい、にぎわい、観光交流の花咲くさつま町」を踏まえて質問する。 (1) 身障者用駐車場を設置していない理由は。 また、駐車場数について十分と考えているのか。 (2) 周辺歩道に設置されている視覚障害者誘導ブロックは、草で覆われている部分が数メートルに及び、その歩道は極端に中央が隆起しており、歩行者にとって危険である。この状況を把握しているのか。 (3) 宮之城鉄道記念館の整備促進について、今後の考えは。	町 長

順番	(議席番号) 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
		2 今後の林政について (1) これまでの森林環境譲与税を活用した事業についての評価と今後の課題は。 (2) 今後も事業を推進していく上で、林政に精通した専門職員の雇用が必要だと思うがどうか。	町 長
6	(4) 徳留 和樹	1 新規就農者等の支援策について 令和6年度における本町の新規就農者は3名であり、川薩地区は6名であった。昨年7月には、ニューファーマー営農塾などが開講され、新規就農者の方々が様々な夢や目標を発表された。 本町として新規就農者や認定農業者の方々をどのように支援していく考えか。 2 物価高騰による機械、機材導入等について 近年の物価高騰は、農業にも深刻な問題を与えている。本町のみならず農業従事者の確保や維持は喫緊の課題であると考ええる。農業を続けようとしても機械などが故障し、修理代、導入費の高騰で断念する農業事業者も増えてきている。 このような現状をどのように捉えているのか。 また、昨今のコメ問題などを踏まえて、本町としての補助や助成を含めて、何か特別な対応などを考えているか。	町 長
7	(7) 桑波田 大	1 コンベンションタウンさつま推進協議会について 本町ではコンベンションタウンさつま推進協議会を組織し、スポーツ合宿等の誘致活動に取り組んでいるが、これまでの活動実績と町への経済効果、費用対効果について問う。 また、問題点や課題に対する具体的な改善策や、今後の新たな目標などを考えているか。 2 災害協定の見直しについて 近年、災害による直接的な被害よりも、避難途中や避難後の体調悪化による災害関連死が増加している。 避難所でのライフライン確保は、民間団体との連携が不可欠だと考えるが、現在の協定はどうなっているか。	町 長
8	(3) 堅山 秀樹	1 農業振興及び農家所得の向上対策について (1) 農業振興における認定農業者の役割は、必要かつ重要な役割を担っていると考えるが、認定農業者の確保に向けた取り組みとその支援策についてどう考えているのか。 (2) 認定農業者以外の一般農家、特にコメを生産する兼業農家（第三者的農家）への支援策は考えていないのか。 (3) 大型農家や認定農業者に農地の集積が進む中、基盤整備がいまだになされていない地区への対応はどう考えているのか。	町 長

順番	(議席番号) 質 問 者	質 問 事 項 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
9	(13) 中村 慎一	1 所信表明について 町政運営に対する所信にあるさつま町の課題が山積する中に、下記について、町政の推進方策をどのように方向付けるのか示せ。 (1) 国土強靱化地域計画に基づき道路改良や避難路の確保等を計画的に進めるとされているが、令和3年の大雨被害の状況等からも安全な道路交通網の確保は大事である。この点について、所管課ではこれに基づき具体的な年次計画等をもって対策や事業推進を図っているのか。 (2) 本町の基幹産業である水田農業対策において、高齢化等による農家の減少に対して、農業者の確保対策は出来ているのか。担い手支援については認定農業者について対策が講じられているが、地域への定住の観点からもその他一般への対策は講じる考えはないか。 (3) 賑わいのある中心市街地づくりについて、具体的な構想は出来ているのか。また、文化センターの大規模改修との兼ね合いはどうなるのか方針を示せ。 (4) 子育て支援について、子育て応援パッケージとして支援していくとされているが、少子化が進み1年間の出生者数の状況などからは、現在の保育所・認定こども園の体制について方向付けが必要であると考え。地域への定住問題を含めて、これについての考え方を示せ。	町 長 教 育 長